

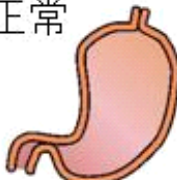



# ABC検診

※血液検査で出来る胃検診

胃潰瘍・十二指腸潰瘍の主な原因と考えられているヘリコバクター・ピロリ菌の抗体価検査と胃粘膜萎縮（老化）マーカーのペプシノーゲン検査とを組み合わせ、胃の健康度をABCの3群に分類するのがABC分類です。このABC分類を用いて、胃の健康度に応じた検診間隔を設定し、効率的に検診を行う方法がABC検診です。  
 ※ABCDの4群に分類するABCD検診もあります。

表1 ABC検診の4つの群

危険率が高まる ← 萎縮がすすむ →

	A群	B群	C群	D群
ピロリ菌	—	+	+	—
ペプシノーゲン値	—	—	+	+
胃粘膜の状態	正常 	軽度萎縮 	中等度萎縮 	高度萎縮 
胃がん発生率	年率0%	年率0.1%	年率0.2%	年率1.25%
13,033*	10,147(78%)	1,594(12%)	1,103(9%)	189(1%)

\*東京都某職域 ABC検診受診者数(比率) (2010年度)

